※対面形式により開催します。
・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。
　1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。
　個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。
・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育（CPD）に関する参加証明書を交付します。
　なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。
・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

~~~~~~

令和 8 年 10 月吉日

各　位

軟弱地盤研究会（第 216 回）のご案内

軟弱地盤研究会
会長　日野剛徳

日　時：令和８年１０月２２日（木）１４時～１６時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場　所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室
（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地　TEL　0952-97-5595）
https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6
駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話　題：阿蘇火山灰質粘性土の特性を考慮した造成工事（深層混合処理工の配合・強度特性）

講演者：大成建設（株）九州支店　坂井　徹　氏

概　要：講師から下記の概要をいただきました。
　本講演では、熊本県県北地域の造成工事で対象となった黒ぼく、赤ぼく、阿蘇 4 粘性土などの火山灰質粘性土について、軟弱・高含水・攪乱による強度低下という特性を踏まえた地盤改良の取組みを紹介する。
　火山灰質粘性土の深層混合処理による地盤改良にあたり、土質ごとに室内配合試験により添加量と一軸圧縮強度の関係を把握したうえで適切な添加量を定め、所定の強度を有した改良体を造成した。
　法面安定確保のために深層混合処理では、近接する既設構造物に変状を与えない施工が求められた。そこで改良体の厳密な品質管理が重要であると考え、改良体の若材齢強度を測定できる「T-GeoPenester」を採用した。
　営農地域であることを考慮した防塵型石灰によるトラフィカビリティの確保など、施工・環境面の工夫と得られた知見も報告する。

※参加希望の方は 10/15（木）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。
それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

軟弱地盤研究会事務局
担当：喜連川　聰容（Kirekawa Toshihiro）
E-mail: asgt@sagacat.or.jp
URL: https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html
〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地　（公財）佐賀県建設技術支援機構内
TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
~~~~~~